

# 第四次和光市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）

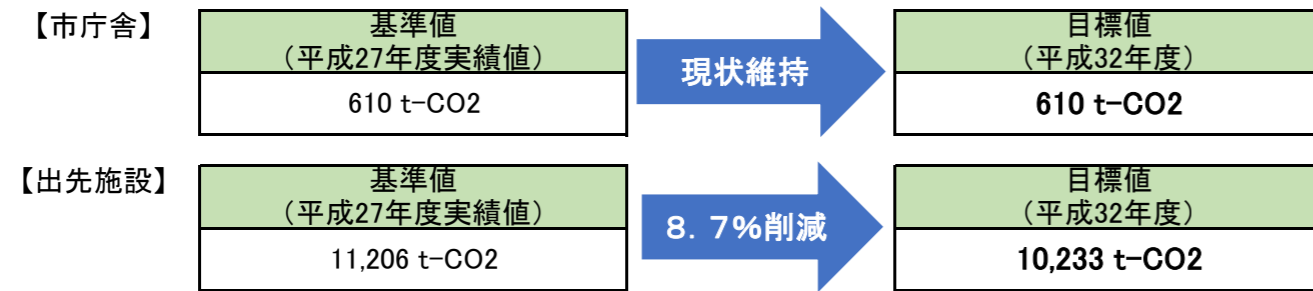
平成29年4月1日策定

この計画は、和光市役所を一事業者として、温室効果ガスの排出量削減により地球温暖化の防止を図るものです。

## ■第四次計画の温室効果ガス排出量削減目標

【市庁舎】2020年度時点で2015年度と**同水準**を維持します。

【出先施設】2020年度までに2015年度と比較して**8.7%削減**します。



## ■第四次計画のエネルギー消費原単位削減目標

2020年度時点で2015年度と比較して**5%削減**します。



### 具体的な取組目標

項目	基準値 (平成27年度実績値)	目標値 (平成32年度)	内容・概要
省エネルギーの推進 (電気・燃料の有効利用)	電気使用量	10,698,552 kwh	9,521,711 kwh 11%減
	ガソリン使用量	37,675 L	— 現状レベルを維持
	ガス使用量	都市ガス 420,236 m <sup>3</sup> LPガス 63,089 kg	都市ガス 378,212 m <sup>3</sup> LPガス 56,780 kg 10%減
	その他の燃料使用量	灯油 69,896 L A重油 11,614 L	灯油 62,906 L A重油 10,453 L 10%減
省資源の推進とごみの減量	庁舎の可燃ごみ搬出量	14,159 kg	13,451 kg 5%減
	庁舎コピー使用枚数	3,933,021 枚	— 現状レベルを維持
	一般廃棄物焼却量	17,416 t	16,557 t 事業系ごみ △859 t
経年設備の省エネ改修 新エネルギーの導入	—	△186 t-CO2	省エネ法に基づく 中長期計画より

## 第四次和光市地球温暖化防止実行計画の具体的な取組目標

### I 省エネルギー対策

冷暖房の適正運転の管理を行い、空調効率の向上を図ります。

その他、照明の間引き、冷暖房の使用時間の短縮、OA機器の節電モード活用などの取組を行います。

### II 庁用車の適正利用

タイヤの空気圧の調整、エンジンのメンテナンスなど庁用車の整備を、点検日を定めて実施します。

各施設に自転車を配置し、庁用車の稼働頻度を抑えます。 ※出先施設のみの取組

その他、自転車や公共交通機関の利用、エコドライブやアイドリングストップなどの取組を行います。

### III 新エネルギーの導入

太陽光発電、太陽熱温水器、新エネルギーによる街路灯、天然ガスコージェネレーションなどの導入を図ります。

### IV 省資源・リサイクル対策

ビン・缶・ペットボトル・プラスチックのリサイクルを徹底します。

シュレッダー車の利用回数を増やし、個人情報を含む紙ごみのリサイクルを徹底します。 ※本庁舎のみの取組

庁舎内(レストラン含む)の生ごみを堆肥化し、資源として再利用します。 ※本庁舎のみの取組

各学校の生ごみを堆肥化し、資源として再利用します。 ※出先施設のみの取組

その他、節水、裏紙の有効利用、再生紙の利用、物品の長期使用などの取組を行います。

### V 公共工事(建築・土木)における環境配慮

環境に配慮した設計書及び仕様書の作成、リサイクル材料の積極的採用などの取組を行います。

### VI 市全域でのごみ減量と焼却効率の向上

ごみの焼却効率の向上と市全域でのごみ減量を図る取組を行います。

### VII グリーン購入・調達の推進

物品の長期間の使用を心がけ、環境ラベルのついた商品を優先的に購入するなどの取組を行います。

## ★エコオフィス手順書★

市の事務活動において環境負荷の低減と温室効果ガスの削減を図るために職員が取り組むべき事項と点検の手順を示しています。

「省エネルギー・省資源」 職員の取組内容、報告様式のエコ様式を示しています。「紙のリサイクル(古紙類の分類排出)」 古紙の分類処理の仕方を示しています。

「紙のリサイクル(裏紙使用)」 裏紙の対象となる用紙、紙ごみの処分の判断基準を示しています。「エコドライブの推進」 庁用車の点検・整備の内容を示しています。

「グリーン購入」 環境に配慮した物品・サービスの購入や調達基準を示しています。